

利用基準調整指数表

(表2)

区分			類型	調整指数
児童の状況	①	学年別指数	小学校第1～3学年に在学している	0
			小学校第4学年に在学している	-2
			小学校第5学年に在学している	-4
			小学校第6学年に在学している	-6
	②	障がい児指数	小学校第1～3学年に在学している	4
			小学校第4～6学年に在学している	3
保護者の状況	③	生活状況指数	ひとり親家庭	10
	④	就労時間指数	午後5時以降に勤務が終了	0
			午後4時から午後5時までに勤務が終了	-2
			午後3時から午後4時までに勤務が終了	-4
			午後3時までに勤務が終了	-6
	⑤	就労日数指数 (日曜日を除く)	週5日(月20日)以上の勤務	0
			週4日(月16日)以上の勤務	-2
			週3日(月12日)以上の勤務	-4

1 こどもの家の利用決定について

- (1) 利用基準表(表1)及び利用基準調整指数表(表2)の合計指数が高い児童から順に利用決定します。
- (2) 指数の高い者から利用決定を行い、指数が同点の者をすべて利用させるとこどもの家の定員を超えてしまう場合は、学年の低い児童、保護者の就労時間の長さ、保護者の就労日数の多さ、保護者以外の同居親族の有無の順に優先して定員までの者を利用決定します。

2 指数の計算方法

指数は、利用を希望する児童ごとに以下のとおり求めます。

- (1) 保護者それぞれの監護に欠ける要件を利用基準表(表1)にあてはめ、基準指数を求めます。
- (2) 表1で求めた基準指数から、利用基準調整指数表(表2)区分①～⑤の調整指数により加減します。
- (3) 表1及び表2から求められた保護者それぞれの指数を合計します。